

# 生(命)の終焉と個人・家族

2014年10月11日(土) 13:00 ~ 16:00  
大妻女子大学 千代田キャンパス A棟 155講義室

医療の高度化に伴い生(命)の終焉の場面における当事者とその家族の選択肢は増えたものの、それに伴う自由とリスク、自己責任の間の葛藤は、より大きなものになりつつあるといえます。本シンポジウムでは、このような生(命)の終焉における医療技術の利用に際し、個人と家族のウェルビーイング(well-being)をどのように実現していくかを、「家族関係学」の立場から考えていきたいと思ひます。

## ◆シンポジウム

趣旨説明 竹田 美知 (神戸松蔭女子学院大学)

報告1 木村 利人 (早稲田大学ライフサポートイノベーション研究所招聘研究員)  
「医療高度化時代における尊厳ある『いのち』の終わり」とバイオエシックス」

報告2 辻 彼南雄 (水道橋東ロクリニック院長)  
「尊厳ある生命の終わり」と医療」

報告3 袖井 孝子 (一般社団法人シニア社会学会会長)  
「終末期における患者の意思と家族の意思～認知症高齢者の自己決定権を中心に～」

報告4 細江 容子 (実践女子大学)  
「再帰的近代社会における生(命)の終焉と家族関係学」

司会 : 吉原 千賀 (高千穂大学)

◆主催 一般社団法人日本家政学会 家族関係学部会

家族関係学部会員以外で  
公開シンポジウムのみ参加の方は  
参加費 無料

◆会場アクセス JR/地下鉄市ヶ谷駅より徒歩10分  
地下鉄半蔵門駅より徒歩5分

会場アクセス→



セミナー事務局

大妻女子大学 小澤千穂子研究室

〒102-8357 千代田区三番町12

phone : 03-5275-6074 (代表)